HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	研究会報
Citation	独語独文学研究年報, 30, 41-44
Issue Date	2003-12
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/26142
Type	departmental bulletin paper
File Information	30_P41-44.pdf

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

研　究　会　報

講義題目（２００３年度）

［学部］

独語学概論Ⅰ	ドイツ語におけるコミュニケーション	植木　迪子
独語学概論Ⅱ	現代ドイツ語の構造とその背景	清水　誠
独文学史概説Ⅰ	文学史記述の諸問題	山田　貞三
独文学史概説Ⅱ	文学研究入門	石原　次郎
独語学	ドイツ語の多言語性（２）	植木　迪子
独語学	英語との比較におけるドイツ語	神　久聡
独語学	Textsortenspezifische Übungen Ⅰ : Hörverstehen	Christine Kühn
独語学	Textsortenspezifische Übungen Ⅱ : Schreiben	Christine Kühn
独文学	魔女の歴史と物語（１）	山田　貞三
独文学	魔女の歴史と物語（２）	山田　貞三
独文学		Barbara Klema
独文学	Deutsche Musik und Film	Birgit Lisker
独語学基礎演	Kommunikative Grundlagen Ⅰ	Christine Kühn
独語学基礎演習	Kommunikative Grundlagen Ⅱ	Christine Kühn
独文学基礎演習	ドイツ児童文学を読む（３）	山田　貞三
独文学基礎演習	ドイツ児童文学を読む（４）	山田　貞三
独語学演習	ドイツ語方言の諸相－北ドイツ	清水　誠
独語学演習	中世ドイツ語入門	清水　誠
独語学演習	Landeskunde – Deutsche Landschaften in Literatur und Musik Ⅰ	Christine Kühn
独語学演習	Landeskunde – Deutsche Landschaften in Literatur und Musik Ⅱ	Christine Kühn
独文学演習	言語のイメージ心理学（１）	石原　次郎
独文学演習	言語のイメージ心理学（２）	石原　次郎

［大学院］

ドイツ文学特別演習	文学教育の社会史（３）	石原　次郎
ドイツ文学特別演習	文学教育の社会史（４）	石原　次郎
ドイツ語学特別演習	Sprechen –Psychologie der Sprachproduktion（３）	植木　迪子
ドイツ語学特別演習	Sprechen –Psychologie der Sprachproduktion（４）	植木　迪子
ドイツ語学特別演習	古高ドイツ語とドイツ語史（１）	清水　誠
ドイツ語学特別演習	古高ドイツ語とドイツ語史（２）	清水　誠
ドイツ文学特別演習	Die kurze Geschichte der deutschen Literatur（１）	山田　貞三
ドイツ文学特別演習	Die kurze Geschichte der deutschen Literatur（２）	山田　貞三
ドイツ語学特殊講義	Zwischen Literatur und Alltag: Kommunikation im Film Ⅰ	Christine Kühn
ドイツ文学特殊講義	Zwischen Literatur und Alltag: Kommunikation im Film Ⅱ	Christine Kühn

研究会行事記録

◎２００３年２月２０日に北海道大学文学部２０４号室において２００２年度修士論文・卒業論文発表会が開かれた。

〈留学関係〉

◎２００３年３月に真貝恒平氏がミュンヒェン大学へ留学のため出発。

◎２００３年９月に戸松豊氏がミュンヒェンより帰国。

☆ ２００３年６月１４日の総会にて、幹事選出・新会員の紹介等が行われた。

２００２年度　独語独文関係の論文題目

卒業論文

奥田啓明：ドイツ語における名詞的表現化による副文短縮の際の制約について

野村洋二郎：グスタフ・マイリンクの『ゴーレム』が読者を迷走させる要因

森重晶子：映画のチラシテキストの分析　―その宣伝効果の観点から―

修士論文

井上暁子：1989年以降のドイツにおけるポーランド移民文学―国境を越える作家たち―

香川千穂：パウル・ツェラーンの初期作品―ブコヴィーナのコンテクストにおいて

熊坂亮：ヘッジ表現の対人関係的機能―ポライトネス理論の観点から

真貝恒平：ワイマール共和国期における文筆家の自己理解と危機意識

北海道大学ドイツ語学・文学研究会会則

1．本会は北海道大学ドイツ語学・文学研究会と称する。

2．本会はドイツ語学・文学の発展に寄与することを目的とする。

3．本会は上の目的達成のため、下記の事業を行なう。

　1）　機関誌「独語独文学研究年報」を毎年１回発行する。

　2）　合評会、研究会、講演会等を随時行なう。

4．本会会員は北海道大学大学院文学研究科・独語独文学関係の教官・院生ならびにその趣旨に賛同するものによって構成される。

本会会員は上の活動の遂行のため所定の会費を払う。

本会は１名の会長と若干名の幹事をおく。幹事は会計および編集委員を兼任する。

本会の会計年度は毎年４月１日に始まり３月３１日をもって終わる。

本会の事務局は北海道大学大学院文学研究科におく。

本会に賛助会員をおく。

☆ 論文執筆要項

1．　論文審査

1）本誌は論文の掲載に関して審査を行う。

2）論文の採否は審査委員が決定する。その際、原稿への加筆、修正などを求めることがある。採否の結果は、編集委員会が投稿者に通知する。

3）審査委員は、編集委員会から委嘱を受けた本会所属の教員数名がその任にあたる。

2．原稿執筆規定

執筆申し込み	：	執筆希望者は、各年度の５月に行われる総会の前日までに、その旨を編集委員会に申請すること。
ページ数	：	２０ページ程度。１ページの文字数・行数は任意。ただし３５～３７行程度が望ましい。
原稿の大きさ	：	Ａ４。
論文題目	：	原稿１ページ目の最上段中央に、太字またはゴシックで多少大きめに記載する。二行にわたっても構わない。また、別紙にドイツ語または他の欧文による題目を記載する。
注釈・文献	：	注釈は脚注または奥付けとする。注釈番号はアラビア数字で右括弧付き。
執筆者氏名	：	原稿１ページ目の３行目（題目との間に１行あけること）、太字またはゴシックで右端に記載する。
身分の明記	：	原稿末に丸括弧つきで、右寄りで所属機関・職名を明記する。
締め切り	：	１０月３１日。

会員名簿

※青柳謙二	○阿部和夫	石川克知	石原次郎
伊藤祐紀子	井上暁子	岩井洋	岩田聡
◎植木迪子	梅津真	江口豊	岡﨑朝美
岡田麻子	荻原達夫	香川千穂	川﨑良江
※川島淳夫	川嶋幸子	岸川良蔵	○岸本明子
○熊坂亮	佐藤修子	佐藤俊一	塩谷幸子
清水誠	シャイフェレ馨子	神久聡	真貝恒平
杉浦康則	鈴木将史	瀬尾愼一	高橋修
田中剛	対馬晃	寺田龍男	戸松豊
中川勝昭	○中村寿	中祢勝美	名執純子
名執基樹	西川智之	野村洋二郎	藤本純子
前原真吾	三浦國泰	最上英明	森田一平
山口修司	山田恵子	山田貞三	山田善久

◎は会長　　○は幹事　　※は名誉賛助会員

編集後記

レフェリー制を導入して3年目となりました。掲載論文は2点ですが、これらは厳正な審査を受けた論文です。ご多忙中、快くレフェリーを引き受けてくださった方々には、この場を借りて深く感謝申し上げます。

編集委員一同